

自然科学研究機構 生理学研究所研究会

## 臓器相関による生体制御システムとその変容の仕組み

日時：2014年9月27日（土）～28日（日）

場所：生理学研究所明大寺実験棟1階 大会議室

（明大寺地区生理研建物内です。お間違いないようお願いします。）

世話人：山内 敏正（東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科）

所内対応者：箕越 靖彦（生理学研究所生殖・内分泌系発達機構研究部門）

発表時間 25分（発表20分+ 質問5分）

### 9月27日（土）1日目 13:30～

13:30～13:35 開会挨拶 山内 敏正（東京大学）

#### Session 1 座長；山内 敏正（東京大学）

13:35～14:00 オキシトシン末梢投与は求心性迷走神経を活性化し、摂食量を抑制する  
岩崎 有作（自治医科大学）

14:00～14:25 視床下部で発見した小タンパク質の生理機能に関する研究  
岩越（浮穴）栄子（広島大学）

14:25～14:50 アディポネクチンの POMC ニューロンへの効果：グルコース濃度依存的相反性調節  
須山 成朝（自治医科大学）

14:50～15:05 休憩（15分）

#### Session 2 座長；矢田 俊彦（自治医科大学）

15:05～15:30 視床下部 AMPK による食物嗜好性の調節機構  
岡本 士毅（生理学研究所）

15:30～15:55 NMDA 受容体コアゴニストによる食事嗜好性調節  
佐々木 努（群馬大学）

15:55～16:20 摂食リズムが中枢性代謝調節機構に及ぼす影響  
志内 哲也（徳島大学）

16:20～16:45 Atlas of circadian clock gene expression in the body  
土居 雅夫（京都大学）

16:45～17:00 休憩（15分）

#### Session 3 座長；竹田 秀（東京医科歯科大学）

17:00～17:25 臓器相関による異所性脂肪蓄積の新たな分子機構  
菅波 孝祥（東京医科歯科大学）

17:25～17:50 脂肪組織生体イメージングによる脂肪組織炎症の動的解析  
前田 法一（大阪大学）

17:20～18:15 脂質シャペロンによる新たな臓器連関ネットワーク  
古橋 真人（札幌医科大学）

18:30～ 懇親会 職員会館 2階 会議室（建物移動 徒歩数分）

9月28日(日) 2日目 8:30~

Session 4

座長; 山田 哲也 (東北大学)

8:30~8:55 中枢神経性肝糖産生制御における迷走神経・クッパー細胞の役割  
井上 啓 (金沢大学)

8:55~9:20 脂肪組織と肝臓の代謝連関の異常による糖尿病発症のメカニズム  
三木 隆司 (千葉大学)

9:20~9:45 CITED2-GCN5 複合体を介した糖新生制御機構の解明  
松本 道宏 (国立国際医療研究センター研究所)

9:45~10:10 肝細胞の  $\beta$ Klotho による血漿脂質の制御  
田中 智洋 (京都大学)

10:10~10:30 休憩 (20分)

Session 5

座長; 箕越 靖彦 (生理学研究所)

10:30~10:55 代謝関連臓器をターゲットにした抗糖尿病治療薬としてのアディポネクチン受容体  
アゴニストの開発の試み  
岩部 美紀 (東京大学)

10:55~11:20 末梢性シグナル分子による運動制御機構の解明  
阪上 浩 (徳島大学)

11:20~11:45 オクタン酸は G 蛋白共役型受容体を介してグルコース応答性  
インスリン分泌を促進する  
宗像 佑一郎 (東北大学)

11:45~12:10 膵管上皮細胞と膵島の相互作用  
稲田 明理 (九州大学)

12:10~ 閉会の挨拶 箕越 靖彦 (生理学研究所)

